

多様化する依存症支援と

“回復”のかたち

依存症の回復とは
そして、その後をどう生きるのか


THE 7TH
YAMAGUCHI ADDICTION SEMINAR
Recovery Takes Many Forms

2026年
8/23 日
13:00-16:40 (12:30受付開始)

本研修は、依存症に関する理解の促進と支援体制の強化を総合的に行うことを目的としています。
依存症とその治療についての理解を深め、関わりのヒントを見つけていただければと思います。
たくさんの方のご参加をお待ちしています。

- ▶対象 / 山口県の依存症に関わる医療従事者、依存症に関心のある支援者、学生等
- ▶配信方法 / ライブ配信  zoom / 先着200名 オンデマンド配信あり
- ▶参加費 / 無料

主催：山口県・山口県依存症治療拠点機関（山口県立こころの医療センター・高嶺病院）

お問い合わせ  Mail / kokoro.izon@gmail.com
山口県立こころの医療センター（荒木、藤村、工藤） / 高嶺病院（岡村、吉田）

詳しい情報、お申し込み方法は裏面をご覧ください

●開会 13:00

●講演1 13:05~14:05

テーマ:

「やめさせようとするほど、依存症支援はうまくいかない～対象理解・治療同盟・希望の共有～」



さいがた医療センター 院長

佐久間 寛之 氏 Hiroshi Sakuma

Profile

福島県立医科大学医学部卒。財団法人太田病院太田西ノ内病院精神科、医療法人落合会東北病院などを経て、2012年より国立病院機構久里浜医療センターアルコール科医長。2016年より全米アルコール乱用・依存研究所(NIAAA)客員研究員。2018年、国立病院機構さいがた医療センターに勤務、アディクション診療部門Sai-DAT創立。2022年、同院院長に就任。医学博士、精神保健指定医、精神科専門医。

●休憩 (10分)

●講演2 14:15~15:00

テーマ:「“回復”のあとを、どう生きるのか」-多様化する依存症支援と「揺れる身体」



薬物依存支援団体「フリーダム」 代表

倉田 めば 氏 Meba Kurata

Profile

薬物依存支援団体「フリーダム」代表。女性ホーム大阪職員。大阪ダルク設立者、1993年9月~2025年3月まで代表をつとめる。市販薬オーバードーズが注目される前から、「OD倶楽部」を設立し、声なき声を拾いあげ、当事者を支援してきた(2025年9月休止中)また、2025年3月より大麻の当事者研究グループ「野菜クラブ」のコーディネーターを務める。精神保健福祉士。

●休憩 (15分)

●シンポジウム 15:15~16:30

テーマ:「多様化する依存症支援と“回復”のかたち」

●助言者

さいがた医療センター 院長

佐久間 寛之 氏

●コーディネーター

山口県立こころの医療センター 副院長

藤田 実 氏

●シンポジスト

▶薬物依存支援団体「フリーダム」 代表

倉田 めば 氏

▶山口DARC 施設長

渡慶次 稔 氏

▶その他、山口県のアルコール・ギャンブル依存症当事者



●閉会 16:40

●お申し込み

下記URLまたは右の2次元コードからお申し込みいただけます。

▶ <https://select-type.com/ev/?ev=I6MnDvfkfHk>

必ずお一人様につき1アカウント(メールアドレス)でお申し込みください。

事前登録されたメールアドレス宛に、概ね3日前に当日参加URL、資料等が届きます。



参加費無料/先着:200名

申込締切:2026年8月16日(日)

お申し込みフォーム▶